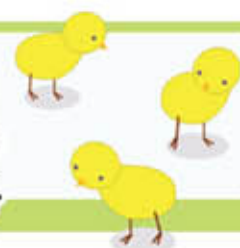


# 札幌皮膚病理研究所ニュース

2008年3月号



## ●皮膚病理倶楽部ホームページコンテンツご紹介 「皮膚病理覚え書」

● <http://www.sapporo-dermpath.com> からお入りください

### — 第5号企画 — 皮膚病理覚え書 毎週火・木更新

札幌皮膚病理研究所が毎日の診断業務の中で疑問に思ったことをブログに書き留めることにしました



皮膚病理倶楽部のコンテンツは会員限定公開。入会は無料です。

#### 最近の記事

[Asteroid body と Schaumann body](#)

[基底癌の肥厚の意味は・・・](#)

[Hyperplasia と Hypertrophy の使い分けは・・・](#)

[Senear-Usher 症候群：  
Pompholyx erythematosa について](#)

[「ペットのおくすり」](#)

毎週火曜・金曜に更新。  
ふと思いついたこと、疑問に思ったことを調査し、blogにまとめています。

2008年2月14日(木)のblogより

[Hyperplasia と Hypertrophy の使い分けは・・・](#)

“肥厚”を英語で表現するときにHyperplasiaとHypertrophyのどちらが正しいのかについて、先生は“それぞれの言葉は、数の増加を表すもの、そして個々の細胞などの大きさを表すもの、という違いがあるので・・・”といわれたので調べてみました。

先生の言われた通りに辞書でも記載されていたのですが、ステッドマン医学事典にさらに詳しく記載されているので簡単に載せてみました。・・・

(続きはblogでお楽しみください)

## ●研修医日記のご紹介

当研究所で研修を受けた先生・研修中の先生方の日記をホームページに掲載しています。

<http://www.sapporo-dermpath.com> からお入りください

### 札幌皮膚病理研究所 研修医の日記

札幌皮膚病理研究所にいらした先生方の研修日記です。  
(日記断片集)

● 富田 文 2007年11月～  
● 松島 賢 2007年12月～  
● 木村 鉄宣 2007年10月～12月  
● 秦 洋郎 2007年4月  
● 藤野 直樹 2006年9月4日～8日  
● 高橋 弘子 2006年5月4日～8日  
● 藤本 朋也 2004年7月～10月  
● 2005年10～11月、2005年5月 のアメリカ研修中  
● 金 誠 2005年12月9日～12月29日  
● 伊東 慶博 2005年8月31日～9月2日

### 神戸労災病院 松島先生

2008年2月17日の日記より

兼古先生が札幌市医師会で「皮膚の真菌感染症 当施設において2001年から2007年に病理診断された症例の検討」を発表されました。当日は参加できませんでしたが、ポスターを見せていただきました。皮膚科以外の先生にもわかりやすいすばらしいポスターでした。私も他の先生方のように、きっちり検討し、うまくまとめて発表できるようにしたいと思います。



←大阪市立大学の曾和先生(前左)がいらっしました。

↓  
夜にはうなぎ料理店「なが木」にご一緒しました。うなぎに満面の笑み。



## ●学術業績 学会発表

● 皮膚の真菌感染症～当施設において2001年から2007年に病理診断された症例の検討～

木村鉄宣、兼古理恵、古賀佳織、秦洋郎  
2008.2.17 第33回札幌市医師会医学会

● 「隆起性皮膚線維肉腫 (Dermatofibrosarcoma protuberans) 78例の臨床および病理組織学的検討」

秦洋郎、木村鉄宣、古賀佳織、兼古理恵  
2008.2.16 日本皮膚科学会第373回北海道地方会

## 今後のスケジュール

● 2008.3.8(土)  
ヤンセンファーマDermaフォーラム2008  
会場：品川プリンスホテル  
演題：臨床医と病理診断医はこんな間違いをする  
—皮膚病理診断の現場報告  
演者：木村鉄宣

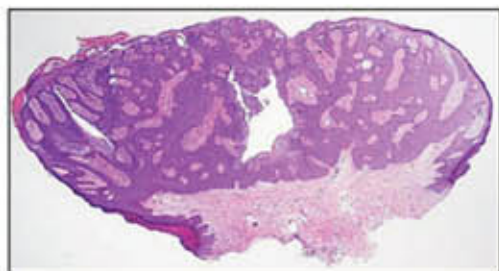
セミナー

● 2008.6.7(土)-8(日)  
第7回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：東京)  
会場：日本医科大学 千駄木キャンパス  
教育棟2階 講堂  
講師：木村鉄宣

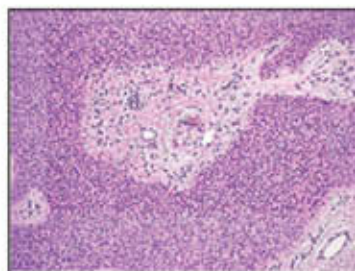


## 今月の症例

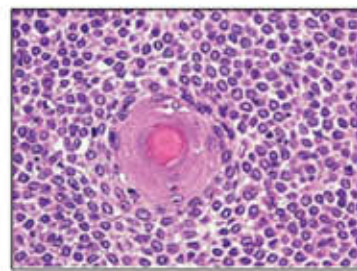
91歳 女性 生検部位：左足底  
臨床診断：左足底皮膚腫瘍 病理組織診断：Poroma



表皮と連続して隆起部内に上皮性有茎性の隆起病変があり、腫瘍性病変が形成されている。



構成細胞は小類円形の孔細胞 (poroid cell) で、間質には結合組織と血管がある。



強拡大では、構成細胞は2種類あり、1) 小類円形核を有する基底細胞様の孔細胞 (写真周辺部) と2) 管腔への分化を示す好酸性の小皮縁細胞 (cuticular cell: 写真中央) である。

## セミナー情報

お早めのお申し込みには割引が適用されます！

### ● 第7回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：東京) 「病理用語と各種皮膚疾患の病理組織像の解説」

日時 2008年6月7日(土) 10時～17時  
6月8日(日) 9時～16時

会場 東京都文京区千駄木1-1-5  
日本医科大学 千駄木キャンパス  
教育棟2階 講堂

共催 日本医科大学皮膚科  
参加費 32,000円  
定員 100名



第7回・第8回 皮膚病理講座基礎編 の準拠テキスト  
「**あたらしい皮膚科学**」をを事前販売いたします。  
セミナーお申し込み時にぜひご注文ください。

※会場での販売は行いませんのでご了承ください。

### ● 第8回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：大阪) 「病理用語と各種皮膚疾患の病理組織像の解説」

日時 2008年7月20日(日) 10時～17時  
7月21日(月・祝) 9時～16時

会場 大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
大阪市立大学医学部 阿倍野キャンパス  
大講義室

後援 大阪市立大学医学部皮膚科  
参加費 32,000円  
定員 100名

→2007年開催  
の  
皮膚病理講座基礎編の  
ようすです



### ● 第15回札幌皮膚病理セミナー (開催地：札幌) 「臨床皮膚科に役立つ皮膚病理学 新しい発見とアイデア」

皮膚科の臨床診断や治療、そして皮膚病理診断に役立つ、  
皮膚病理の重要情報を提供します！！

日時 2008年9月14日(日)  
9月15日(月・祝)

※半日勉強、半日自習というセミナーを開催します。  
詳細決定次第掲載いたします。

会場 札幌皮膚病理研究所  
参加費 30,000円

本セミナーはNPO法人皮膚病理発展推進機構の主催です。

### ● 第1回 皮膚病理講座 診断編 (開催地：東京) 「皮膚病理診断への第一歩」

日時 2008年11月23日(日) 10時～17時  
11月24日(月・祝) 9時～16時

会場 (予定) 東京都新宿区信濃町35番地  
慶應大学医学部 東校舎講堂

共催 慶應大学医学部皮膚科  
参加費 32,000円  
定員 100名

新着情報はホームページ ([www.sapporo-dermpath.com](http://www.sapporo-dermpath.com)) で随時紹介されます。

### 札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842  
e-mail: [office@sapporo-dermpath.com](mailto:office@sapporo-dermpath.com) website: <http://www.sapporo-dermpath.com>

編集担当：佐藤 尚子